

「平成23年度東久留米市事務事業見直しのための仕分け」 委員意見・提言

番号	A-5	担当課	生活文化課
事務事業名	コミュニティ図書室運営事業		

判 定 区 分							(仕分け市民委員数はA班4名、B班3名)						
1	不要	2	民間	3	国	4	東京都	5	他市町村との広域連携	6	東久留米市(改善有)	7	東久留米市(現行通り)
0名		0名		0名		0名		0名		4名		0名	

仕 分 け 委 員 意 見 ・ 提 言

委員・・・6東久留米市(改善有)②事業規模を縮小すべき

○南町・下里コミュニティ図書室への各補助金(約410万円)を半額(約200万円)程度にしてはどうか。

委員・・・6東久留米市(改善有)②事業規模を縮小すべき⑦その他

○補助金支出に関する「共通業務運用指針」が守られていない。
 ○同じ市の予算で行っている図書室事業と図書館事業の連携が取れていないが、法的な問題であることに驚いた。
 ○類似するコミュニティ図書室の運用・管理が委託事業である。補助金支出の意図であるコミュニティ活動が十分に機能していない。

委員・・・6東久留米市(改善有)⑦その他

○南町コミュニティ図書室は自主財源を含めて活動している。これをひとつのモデルとして、下里コミュニティ図書室と野火止地区センター図書室にも展開できるとよい。
 ○各図書室で本の相互活用をする等、効果的・効率的に運用して補助金を削減してほしい。

委員・・・6東久留米市(改善有)⑦その他

○利用状況が低いことを考えると、図書室としての機能はすでに終わったのではないか。事業内容を変更すべきである。
 ○下里コミュニティ図書室については乳幼児・子どもを対象とした施設とし、南町コミュニティ図書室と野火止地区センター図書室については女性と子どもを対象にした施設にしてはどうか。
 ○特に野火止地区センター図書室については、地区センターを利用する対象を拡大する、門戸を開く突破口としてはどうか

担 当 課 の 考 え 方

・これまでも図書購入費の削減や開室時間の減など段階的な補助削減の見直しを行ってきており、今後も定期的に見直しを行っていきますが、補助半減など大幅な減額は安定的な運営に支障が出てしまうため難しいと考えています。
 ・今後見直しの検討の際には、他図書室の活動事例を参考としたり、図書の相互活用等の図書室間の連携など、効果的・効率的な運用ができるよう心がけていきます。
 ・コミュニティ図書室は、地域住民が施設の管理運営を担い図書室を通じて地域コミュニティの醸成を図る施策なので、図書の貸し出しだけでなくコミュニティ醸成のため、地区センターの利用者や地域の子どもの女性などを対象に、利用者を拡大していけるような事業の展開を検討していきます。